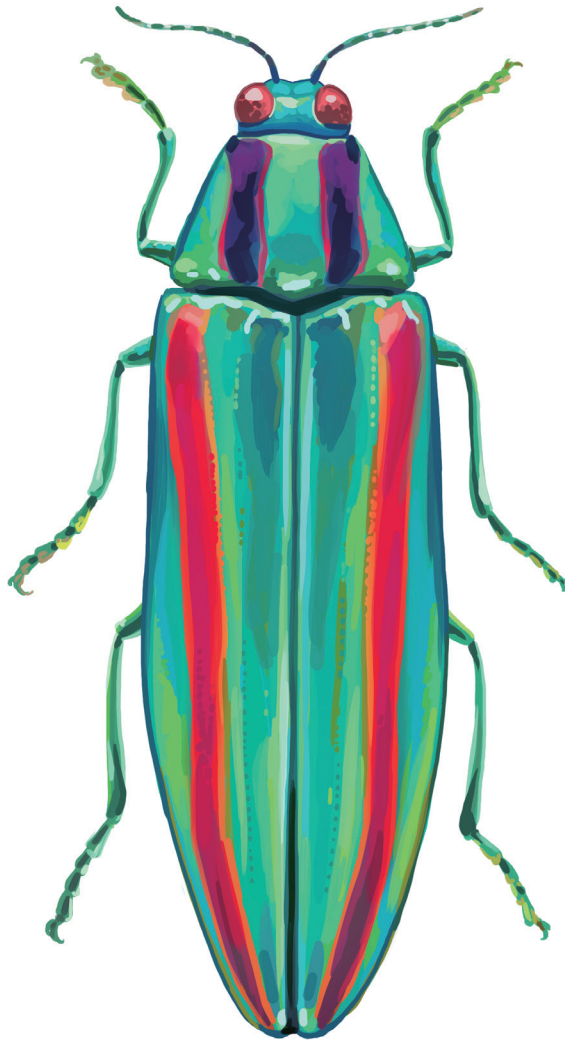


自然の恵みを感じる生物多様性マガジン「イキトモ」

VOL.

5

SPRING  
2013



本からつながる  
生物多様性。

『生物多様性の本箱』

子供向け推薦図書が決定。

ブックディレクター 幅允孝さんが選ぶ  
生物多様性の10冊。

幅允孝 (はばよしとか) ブックディレクター。  
本にまつわるあらゆることを扱う。東急ハンズ銀座店「HANS BOOKS」や千里リハビリテーション病院などで本をディレクション。  
活動を題材としたノンフィクション『本の声を聴け』(文藝春秋社)が2013年1月に出版。

# 本と生物多様性。



幅允孝 (はばよしとか) ブックディレクター。  
本にまつわるあらゆることを扱う。東急ハンズ銀座店「HANS BOOKS」や千里リハビリテーション病院などで本をディレクション。  
活動を題材としたノンフィクション『本の声を聴け』(文藝春秋社)が2013年1月に出版。

# 本と生物多様性。



## 「犬のこぼ」

日高敏隆  
(青土社)

軽快なエッセイで読む  
動物たちの疑問や新発見。

動物行動学者のエッセイを  
まとめたもの。「なぜ人は  
ゴキブリが嫌いなのか」「虹  
は何色なのか」「動物に自  
意識はあるのか」など、テ  
ーマは動物だが我々人間、  
自分たちに帰ってくる視点  
が素晴らしい。各エッセイ5、  
6ページと軽妙ながら凝縮  
されて書かれている。



# 1

# 出会う

自然科学の名作から小説、詩、  
写真絵本、マンガまで、さまざまな  
ジャンルから10冊の本を  
ブックディレクター幅允孝さんに  
選んでもらいました。

少しショッキングな写真で綴られる写  
真絵本は動物カメラマンが動物の目を通  
して環境を見つめ直すシリーズの第  
2巻。大人になればなるほど、隠したり、  
忘れたふりをしてしまう「死」につい  
てのこと。死が生きものの生きるため  
の糧であることが容赦なく描かれる。

## 「死を食べる

アニマルアイズ・  
動物の目で環境を見る2」  
宮崎学  
(備成社)

動物の死から考える  
命の大切さ。



# 2

## TOPIC

国連生物多様性の10年  
日本委員会推薦

決定!

『生物多様性の本箱』  
～みんなが生きものにつながる100冊～

生物多様性の理解や普及啓  
発、環境学習等に役立つも  
のとして、書籍や映像、グ  
ッズ等の選定を進めていま  
す。2012年度は、日本児童  
図書出版協会、出版文化産  
業振興財団および日本環境  
教育フォーラムのご協力の  
もと、「自然のしくみの素  
晴らしさや大切さを伝える」  
などの選定基準を満たす、  
子供向けの絵本、読み物、  
図鑑、写真集など103点を  
選定しました。

<http://undb.jp/activity/books.html>

これらの図書は地球環境パートナ  
ーシッププラザ（東京都渋谷区）や環  
境省生物多様性センター（山梨県富  
士吉田市）で実際に手に取ってご覧  
いただけます。また今後、ブックフ  
ェアや読み聞かせ会等のイベントや  
Iki・Tomoで紹介していきます。

## ACCESS

地球環境パートナーシッププラザ  
<http://www.geoc.jp>

生物多様性センター  
<http://www.biodic.go.jp>

上野の森 親子フェスタ  
<http://www.jpica.or.jp/event/ueno/index.html>

4

## 「完訳 ファーブル昆虫記」

ジャン-アンリ・ファーブル  
(集英社)

完訳でよみがえる自然科学書の名作。

訳者の奥本大三郎はフランス文学者で文学や芸術に関する造詣が深く、昆虫に関する知識の豊かさでも有名。あらためて読んでみると、何よりも自然描写が美しいことに驚かされる。第1巻はファーブルが感じた昆虫や動物への驚きや自然への不思議が鮮明に描かれている。豊富なイラストや繊細な注釈も読みやすい。



5

## 「リトル・フォレスト」

五十嵐大介  
(講談社)

自給自足に近い生活を描いた自然マンガ。

東北の山間の小さな集落で畑仕事をしながら暮らす20代前半の若い女性・いち子。都会から戻ってきた主人公の日々の料理、食事を中心に描かれた物語である。手に入るものを自分でとって、自分で調理する。生活における、あるべきものの真っ当さを感じさせる作品。



# 生物多様性と出 10冊の本。

幅允孝が選ぶ

3

## 「編む」

中村桂子  
(新曜社)

自然や生命を  
編んでいくことは？

雑誌のようにテーマをきめ、対談や研究・研究者紹介などを通して考える媒体。2010年に発行されたこの号は自然が生命を「編む」ことがテーマとなっている。装丁も毎月凝りに凝っているのが特徴で特にこの号は「編む」にちなんだスピル(しおりひも)がおまけに

6

## 「私は虫である」 熊田千佳穂の言葉」

熊田千佳穂  
(求龍堂)



虫や花を愛し描いた日本のプチファーブル。

「ファーブル昆虫記」の絵本で高評価を受け、日本のプチファーブルと呼ばれた画家。今にも動き出しそうな細密画は虫や花を徹底的に見つめて描かれたもの。未発表の語録のノートからの言葉集。

Meet with Biodiversity!

ブックディレクター

## 7 「センス・オブ・ワンダー」

レイチェル・カーソン 上遠恵子訳  
(新潮社)

詩のように美しい言葉と写真と。



作家が海洋生物学者であったレイチェル・カーソンの遺作。「神秘さや不思議さに目を見はる感性」が題名作者の親戚である4歳の少年が大いなる自然や小さな生命の驚異に感動することを共に楽しむ内容。「子供だけでなく、人間にとっても知ること大切だ」と。

地球の誕生から現在まで、長い長い生命の歴史を5幕の劇仕立てで紹介する絵本。プロローグの銀河系から始まる歴史では人類が誕生するのはほんの最後のひと幕。壮大な歴史の中で生命の来歴やつながりに感動を感じる。「ちいさいうち」「いたずらきかんしゃちゅうちゅう」の作者の最後の作品で、あらゆる年代に贈りたい1冊。

## 「せいめいのれきし」

バージニア・リー・バートン  
(岩波書店)

読み継いでいくべき圧巻の1冊。



## 10

### 「終わりと始まり」

ヴィスワヴァ・シンボルスカ  
(未知谷)

ノーベル文学賞受賞の詩集。

生涯に2000編程の作品を発表した寡作の女性詩人。誰にでもわかる短くてシンプルな言葉で表現された詩は、大きな事象や考え方を描くのではなく、日々の出来事を俯瞰する描写から、自分の周りの環境が当たり前になり続けるものではないことに気づかされる。



### 「雪のひとひら」

ポール・ギャリコ  
矢川澄子訳  
(新潮文庫)

ロマンティックな  
永遠のベストセラー。

雪のひとひらが主人公。春に一滴の水となり、伴侶となる雨のしずくとの出会い、新たな命が誕生して…。最後には自分のささやかな人生が誰かの役に立っていると気づく。自然の姿に託して、生物が生きることを綴った優しい物語。



## 9

早川 徹

(三越伊勢丹・執行役員 営業本部宣伝部長)

はやかかわとのお 2009年より宣伝部長に就任。生物多様性をテーマに多彩な宣伝キャンペーンを企画。



第2回  
企業と生物多様性

生物多様性は楽しく、面白く、わかりやすく。

**Q** 百貨店という小売業でありながら、生物多様性をテーマにした印象的なキャンペーンを行っていらつしゃいます。

**A** 生物多様性を意識したのは2008年、三越と伊勢丹との経営統合の時でした。大きなキャンペーンのテーマが生物多様性と決まったのです。WWF（世界自然保護基金）展を三越・伊勢丹両本店にて行い、グループ全社で行った環境チャリティキャンペーンも大成功しました。

**Q** 当時、生物多様性はほとんど認知されていません。

**A** そうですね。相当早かったと思います。生物多様性という漢字5文字ではなく、その内容や事柄をいかに表現できるかが大切だと思いました。生物多様

性という言葉に替えて「Kiss the Earth 地球のために、子供たちのために」というキャッチコピーを作ったのです。2010年からは三越伊勢丹グループ全社の共通環境スローガンにもなりました。大規模なクリスマスキャンペーンをはじめ、年

間のいくつかのキャンペーンは生物多様性をテーマにしています。また最近、そこに季節感や日本らしさを加味するようになりしました。

**Q** 宣伝部が積極的に、関わっていらつしゃるのですね。

**A** 百貨店ですから、いかにお客様にわかりやすく、そして賛同してもらえるかが重要です。常に小学校低学年の子供にもわかるという着眼点を大切にしています。「あなたが一番大切な

ものは何ですか？ 隣にいる人と同じように動植物を愛してください」というストーリーを作り、メッセージとして発信しています。壮大なるテーマを可視化して、楽しく、「面白く、わかりやすくするのが宣伝部の重要な役割ですね。

**Q** クリスマスキャンペーンに日本固有種、チャリティキャンペーンにスマトラ島の絶滅危惧種やニホンヤマネなど、さまざまな動物が登場します。

**A** 実は、私は動物が大好きで、小さい頃の夢が上野動物園の園長だったんです。それもあって、生物多様性についてもすぐに理解することができました。これらのキャンペーンに動物がたくさん出てくる理由のひとつかもしれません。

生物多様性のことを多くの人に知ってもらうための広報組織です。現在、60近くの仲間が参加しています。応援団はまだまだ募集中！ <http://undb.jp/public/index.html> へ。



## 生物多様性 キャラクター応援団

～全国のキャラクターからのおしらせ～

### はばタン

(兵庫県)

阪神・淡路大震災から復興する兵庫県を知ってもらうため元気に羽ばたくフェニックスをモデルに誕生。生物多様性豊かな兵庫のために活躍中。



NPO等の環境活動団体が行う生物多様性保全活動を「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」として認定し、活動情報を広く発信することなどにより、県民や企業の方の活動への参画を促進しています。詳しくは「ひょうごの生物多様性ひろば」のウェブにて。

### めぐるん

(長野県)

私たちの暮らしに欠かせないとっても大切な水。その水をいつまでも利用できるように、生活排水対策を進めるためのシンボルが「めぐるん」です。



長野県が取り組んでいるのが「水循環・資源循環のみち2010」構想。普段の暮らしにあって当たり前の水。これからもずっと安心・安全、快適に使えるように2030年度迄の構想に基づき、さまざまな取組みを進めています。

## 認定連携事業

国連生物多様性の10年日本委員会が推薦する認定連携事業を紹介します。



### 生物多様性の道プロジェクト

(公益財団法人日本自然保護協会)

2010年に愛知県名古屋市で行われた生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)を機に始まったプロジェクト。未来をつむぐために、いのちとくらしが持続可能になるよう、それぞれの地域同士が「生物多様性の道」に歩み出すことを必要とし、生物多様性の保全に向けた、社会システムづくり、地域づくり、人づくりを目指しています。

宮崎県綾、群馬県赤谷、千葉県北総など地域の自治体・NGOとも連携を取りながら、地域の自然と暮らしの関係を見るマップ作り、

<http://www.nacsj.or.jp/project/waytob/2011/index.php>

自然保護問題を伝える散策ツアーを実施。



生物多様性地域戦略策定への市民参加の推進やそのための指針をまとめたガイドブック作成普及、人材育成などを組み合わせ、地域戦略策定・実施のモデルを作っています。

生物多様性を活かした地域づくりという新しい取組みをぜひ応援してください。

